

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験		担当者氏名	担当時間数
				職種	役職		
臨床看護統合	1	3	後期	看護師	本校専任教員	専任教員	30
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
該当する ○ 該当しない				講義形式(15)% ・ 実習など講義形式以外(85)%			
評価方法	提出物、出席状況、演習参加状況			教科書・参考資料	基礎看護学[1～3]:医学書院 基礎・臨床看護技術:医学書院		
概要	既習の学習内容を統合しながら、臨床の実務に対応できる看護実践能力の基礎として看護師の思考を学ぶ。看護師の思考の基盤として、既習の知識および医療安全の視点を持ち受け持つ患者の状況を把握する、おこりうる状況を予測する、優先順位を考え対応することを模擬患者の援助を疑似体験することにより学ぶ。						
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4人の模擬患者の状況を把握し、予測される状況を考え、記述ができる 2. 模擬患者の1日の看護援助の計画を、優先順位を考え立案し、記述ができる 3. 患者に起こりうる事象を想定しながら、援助計画に沿って援助を実施する 4. 臨床判断のプロセスを踏まえながら、実施した援助を振り返る 5. 演習を通じて看護師としての自覚と責任を養うことができる 						
回数	授業内容・計画						
1	導入		演習の目的、進め方 模擬患者役割、援助者の役割				
2	講義 臨床判断のプロセス		「気づく」「解釈する」「反応する」「評価する」の4つの過程を実際の実践にどのように活用するか				
	演習1 模擬患者の準備		設定された患者4人の事例について学習を行う				
3	演習2 援助者の準備		4人床を受け持つことを想定し、1日の行動計画を立案する				
4			・模擬患者4名の各患者の1日のスケジュールを組み立てる				
5			・4名を担当した時の自分のスケジュールを組み立てる				
			・療養上の世話と診療の補助の観点から必要な援助を挙げる				
			・優先順位や時間管理を意識する				
6	演習3 演習の準備		・模擬患者役割 事例の患者役割の確認・必要な準備物品の準備				
7			・援助者役割 技術確認、援助を行う際、注意すべきこと、予測することを考える				
8							
9	演習4 援助の実際		・1グループ20分ずつ 4人床受け持ち援助の展開				
10							
11							
12							
13	演習5 演習の振り返り		・個人で振り返りとグループで振り返り				
14							
15	演習6 実際の経験と統合		・統合実習後の学びと演習の学びを考察し直す				
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験		担当者氏名	担当 時間数
				職種	役職		
医療安全	1	2	後期	看護師	津山中央病院 感染管理 認定看護師 同 医療安全管理者	非常勤講師 非常勤講師	4 11
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
○該当する ・ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%			
評価 方法	試験 出席点			教科書・ 参考資料	医療安全:医学書院		
概要	既習の学習の安全に関する知識を統合し、リスクマネジメントについて理解する。 様々な場、状況、環境で活用・実践するために、医療安全教育に基づいた知識を学び、医療事故防止につなげる能力を修得する。 また、感染看護を取り上げ、看護職が行う安全管理について考えを深める。						
目標	1. 医療事故、看護事故の構造を理解できる 2. 感染管理の実際を理解できる 3. 看護業務における事故と発生要因を再認識できる 4. 安全確認の実際を具体事例を通して理解できる						
回数	授業内容・計画						
1	1. 医療安全と看護の理念		医療安全の意味とその重要性 看護職の法的規定と医療安全				
2	2. 医療安全への取り組みと医療の質の評価		国の医療安全への取り組み 看護職能団体の取り組み				
3			国及び医療関係団体の示す医療事故の定義と分類 医療安全管理者 医療安全の中心的役割 医療事故への対応 医療事故の被害者・家族の思いに寄り添ったケア 医療事故の報告制度 医療の質の評価				
4	3. 事故発生のメカニズムとリスクマネジメント 4. チームで取り組む安全文化の醸成		事故発生のメカニズム 事故分析 事故対策 チーム医療の発展と課題 チームSTEPPS:エビデンスに基づいたチームトレーニング エビデンスに基づいた協働の成果				
5	5. 看護業務に関連する事故と安全対策		看護業務と事故発生要因 誤薬と与薬事故:分析と対策 患者の取り違い(誤認):分析と対策 針刺し:分析と対策 転倒転落:分析と対策 誤嚥:分析と対策 異物遺残:分析と対策 皮膚障害:分析と対策 医療機器のトラブル:分析と対策 検査処置のトラブル:分析と対策 チューブ類のトラブル:分析と対策 電子カルテ等情報伝達時のトラブル:分析と対策				
6	7. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策		看護職の業務上の危険とは 感染の危険を伴う病原体への曝露				
7			職業感染に関する予防策 医療機器・機材の使用に関わるリスクと対策 医薬品への曝露				
8	終講試験						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験		担当者氏名	担当時間数
				職種	役職		
看護管理	1	3	前期	看護師 看護師	津山中央病院看護部長 本校専任教員	非常勤講師 専任教員	13 2
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
○該当する ・ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%			
評価方法	筆記試験			教科書・ 参考資料	看護学概論:医学書院		
概要	看護職の持っている能力を一定の施設環境の中で、患者・利用者への看護サービスのために、より良いマネジメントができる基礎的能力を習得する。 チーム医療及び他職種との共働の中で看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。						
目標	患者－看護師関係を中心に医療関係者の共同体、それぞれの役割と業務、連携を媒介するツール、法制度を看護と関連しながら構造的に学習できる						
回数	授業内容・計画						
1	4章 看護の提供者		B③ 看護職者の就業状況				
2			C 看護職者の継続教育とキャリア開発				
3	6章 看護の提供のしくみ		A サービスとしての看護				
4			B 看護サービス提供の場				
5			C 看護をめぐる制度と政策				
6	4章 看護の提供者		D 看護サービスの管理				
7	4章 看護の提供者		C② 専門看護師・認定看護師				
8	7章 広がる看護の活動領域		A 国際化と看護				
8	終講試験						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	実務経験		担当者氏名	担当 時間数
				職種	役職		
災害看護	1	3	前期	医師 看護師 救急救命士 看護師	津山中央病院 麻酔科医師 同 副師長・認定看護師 救急救命士 本校専任教員	非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 専任教員	6 10 4 10
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
○ 該当する ・ 該当しない				講義形式(50)% ・ 実習など講義形式以外(50)%			
評価 方法	試験 学修意欲 レポート			教科書・ 参考資料	災害看護:ナーシング・グラフィカ 臨床外科看護総論:医学書院		
概要	災害が社会の変化や地域の人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解する。 災害発生直後の救急活動に必要な基本的な技術・心構え態度、行動力、判断力を演習を通して理解する。 国際保健医療協力の必要性について理解する。						
目標	1. 災害看護の基本的知識が理解できる 2. 災害と看護の役割が理解できる 3. 救命講習を受け、防災訓練を体験する						
回数	授業内容・計画						
1	災害の種類と災害サイクル 災害の種類と被害・疾病の特徴 災害関連死 災害サイクル						
2	災害医療に関する国の政策と法律 災害医療に関する国の政策 災害医療に関する法律						
3	災害時に必要な医療 トリアージ・応急処置・治療・移送・搬送 危機管理:減災・防災マネジメント						
4	災害看護とは 災害看護の定義 災害と倫理						
5	配慮を必要とする人への支援と看護 支援お必要とする要配慮者(乳幼児・妊産婦・高齢者・障害者・外国人) 継続的な治療が必要な人への支援と看護 遺族に必要な支援と看護						
6	被災者と支援者の心理の理解と援助 災害初期から中長期における看護活動 初動時における看護活動 医療救護所・避難所での看護活動						
7	災害時に必要な医療 トリアージ・応急処置						
8	集中治療を受ける患者の看護 集中治療・看護の概念と役割 集中治療室(ICU) 集中治療における看護の実際						
9・10	普通救命講習						
11～14	【演習】 災害医療・看護の実際 実習病院防災訓練参加 災害医療・看護の実際 演習:救護所・避難所想定演習 看護技術の実際 搬送・固定・包帯法等						
15	終講試験						
留意事項							